

自然への感謝と祈りを込めて
家族を結び、未来へつなげる

和食



お食いの初め

生後100日の節目を祝う伝統行事

「お食いの初め」の祝い膳には、

わが子が生涯にわたり、

自然からの豊かな恩恵を受けられるようにとの

願いが込められています。

「初節句」、「初誕生」、「七五三」など、

成長の節目ごとに祝う行事では、

ご馳走を用意して家族みんなで共に食しながら

自然への感謝と祈りを捧げます。

「和食」はこうした

「自然の尊重」という精神に基づき、

四季折々の恵みがありがたくいただく中で

育まれてきました。

私たち日本人の体や心の健康を保ち、

家族や地域の絆を深める「和食」は

決して特別なものではなく、

日々の食卓を通じて

伝えていく日本の食文化なのです。